

令和7年度第5回京田辺市学校部活動の地域移行推進協議会
会議録

日 時 令和8年3月10日（火） 午後3時30分 開会
午後5時00分 閉会

場 所 京田辺市役所別棟 203会議室

会議議題 議題

- (1) 地域クラブ認定制度について
- (2) その他

出席者 委員 長 竹 田 正 樹
委員 山 際 雅 詩
委員 岡 嶋 一 晃
委員 森 本 克 美
委員 横 井 秀 平
委員 松 下 まどか
委員 狭 川 雅 之

(事務局出席職員)

こども・学校サポート室 総括指導主事 南 部 智 彦
こども・学校サポート室 指 導 主 事 中 井 達
こども・学校サポート室 指 導 主 事 西 田 悠 太

(その他の出席者)

なし

傍聴者の数 0人

会議の要旨

○議題（１）京田辺市認定地域クラブに関する認定要項について

[協議]

(事務局)

認定要件については、概ね国が示しているガイドラインに基づき作成をした。認定の申請及び決定については、当面は本教育委員会が担うこととする。認定期間は、最大３年度とし、年度更新制とする。変更の届け出、認定の取消しについても、本校教育委員会で行う。

[質疑等]

(委員)

認定期間が３年間とあるが、何か決まりはあるのか。

(事務局)

国の基準に準じている。

(委員)

更新期間について、毎年、更新するのか。様式も見当たらないと思うが。

(委員)

毎年の更新は必要ないのではないか。

(委員長)

収支報告は必ず提出させ、自動更新にしてはどうか。

(事務局)

検討してみる。

(委員)

「京田辺市認定地域クラブ活動申請書」の別紙の項目欄で、活動の曜日（土曜なのか日曜なのか）を記載しなくてよいのか。

(事務局)

学校行事や場所の調整等のこともあるので、曜日を固定してしまわずに、地域クラブに融通を持たせたい。そのためには事前に計画を立てて、見通しを持った活動が必要である。

(委員長)

同じく別紙の項目欄で、参加者数の記入にあたって、新規参入の場合はどうするのか。

(事務局)

未定でもよい。ただし、認定要件の（１）の確認は必要になる。

(委員)

現在の中学校部活動にはない種目の申請があれば、認定もあり得るのか。

(事務局)

認定要件が該当していれば、あり得る。

(委員)

新体操で希望があるとは聞いている。

(委員長)

認定要件の（３）には、平日のことも記載があるが、現段階では休日だけの活動ではないのか。

(事務局)

今後のことも踏まえて平日も記載しているが、分かるようにするために注釈を必要と考えている。

(委員)

民間団体が希望した場合はどうなるのか。

(事務局)

認定要件が該当すれば認めることにはなる。

(委員)

同種目で複数の団体ができてよいか。そうすると活動場所の確保が困難になるのではないかと。

(委員長)

当面の3年間は、1種目、1団体と決めてはどうか。

(事務局)

新規参入を拒むのは難しいと考えている。

(委員長)

地域クラブでの活動実績は、進路の報告書にも反映されるのか。

(事務局)

これまでも、外部クラブの野球やサッカーなどの活動実績は記載している。

(委員)

認定要件の(5)に会員との文言があるが、生徒でよいのではないかと。

(事務局)

現段階では中学生が対象ではあるが、将来的には様々な世代が活動できることを想定している。

(委員)

認定申請の時期はあるのか。

(事務局)

「5 認定期間」にも記載しているように、随時と考えている。

(委員)

随時にすると、事務局の負担になるのではないかと。

(委員)

夏以降のスタートにあたり、認定申請をいつから始めるのか。

(事務局)

5月頃に広報し、6月中に認定を進めていきたい。

(委員)

夏の大会結果次第で、地域クラブのスタートが一律ではない中、場所の割り振りは難しいのではないかと。

(事務局)

部活動と地域クラブが混在する時期は、確かに調整は難しいが、学校と進めていきたい。

○議題(2) その他

[協議]

(事務局)

国のガイドラインで、「地域移行」から「地域展開」に名称が変更されたので、本協議会も、今後のガイドラインの変更等に左右されない名称に変更していきたい。また、各委員の任期も、8月6日までとなるので、次年度も引き続きお願いしたい。

[質疑等]

特になし。

以上